

差出人: csih@googlegroups.com は hidekih@wine.plala.or.jp の代理
送信日時: 2015年9月28日月曜日 22:52
宛先: csih@googlegroups.com
件名: [CSIH] 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年9月28日発行
添付ファイル: occupied.pdf

////////////////////////////////////
/ 中部産業遺産研究会 ニュースレター 電子メール版 2015年9月28日発行 /
/ //////////////////////////////////////

中部産業遺産研究会にご興味のある方に、このメールを是非転送して下さい。

【中部産業遺産研究会の入会案内はこちら】
<http://csih.sakura.ne.jp/nyuukaiannai.html>

【中部産業遺産研究会のホームページはこちらから】
<http://csih.sakura.ne.jp/index.html>

【CONTENTS】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

【2】「オキュパイド・ジャパンにみる名古屋絵付け」のご案内
／名古屋陶磁器会館 松井三希子【New】

【3】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第34回／杉本漢三【再送】

【1】中部産業遺産研究会・関連団体の行事予定

- 平成27年度パネル展 2015/11/17(火)～29(日) 名古屋都市センター11階
テーマ「東海の絹・文化と産業遺産」
- 第137回例会・パネル展講演会 2015/11/22(日) 13:00～ 名古屋都市センター11階
- 第138回例会 2016/1/24(日) 13:00～ (会場未定)
- シンポジウム「日本の技術史をみる眼」第34回 2016/2/21(日)13:00～
テーマ：稼働遺産の活用
- 第139回例会 2016/3/20(日) 13:00～ (会場未定)

【2】「オキュパイド・ジャパンにみる名古屋絵付け」のご案内
／名古屋陶磁器会館 松井三希子【New】

このたび、当館では、10月24日(土)～11月6日(金)まで
「オキュパイド・ジャパンにみる名古屋絵付け」を開催します。
(チラシのPDFファイルを添付しています)

「オキュパイド・ジャパン」という言葉をご存じでしょうか。
裏に「Made in Occupied Japan」と記された陶磁器が在ります。
これは、第2次世界大戦の敗戦によって、主権を失った日本が、1945(昭和20)年から
1952(昭和27)年まで、連合国の統治による占領下の時代であったことを示すものです。
その時代でも製品をつくって海外へ輸出しようとして、多くの人たちが汗を流していました。
物資不足・原料不足の戦後の混乱期において、世界に通用する素晴らしい名古屋絵付けを
施したオキュパイド・ジャパン期の作品を一堂に展示します。同時に、戦時中金属の
代用品としてつくられた手榴弾・防衛食器を紹介いたします。

ホームページ

<http://nagoya-toujikikaikan.org>

ブログ

<http://nagoya-toujikikaikan.sblo.jp/>

フェイスブック

<https://www.facebook.com/nagoyatoujikikaikan>

ツイッター

<https://twitter.com/toujikikaikan>

【3】大人の算数・理科シリーズ：モノづくりの原点 第34回／杉本漢三【再送】

真の円周率 π を求める計算公式

4千年前のバビロニアでは、 π を $3 + 8$ 分の 1 として計算していた。アルキメデス (BC287~212) は、 $223/7 < \pi < 22/7$ であることを導いて、 $\pi = 3.14\dots$ を得ることに成功した。この小数点以下の算出は容易でないが、ドイツの数学者ランベルト (1728~77) が循環せずに無限に続く「無理数」であることを 1761 年に証明した。世界中で π の真数を探求する挑戦が続いているが、現在、世界最高記録は、日本人で会社員の近藤茂さんが自作パソコンで小数点以下 12 兆 1 千億桁まで計算した。その計算に用いたのは「チュドノフスキーの公式」であるが、その元になっていたのは、1914 年に発表された「ラマヌジャン (32 歳で死去)」による π の計算公式であったが、1722 年に和算家・建部賢弘は 41 桁の公式を発表している。その後、1989 年にデビット&グレゴリー兄弟が 10 億桁を超える世界記録を作った。この計算記録は 20 世紀後半の電子計算機の急激な発達のおかげであろう。
 (今回はホームページへの電子メール版ニュースレターの収録の都合上、再送致しました。)



中部産業遺産研究会のニュースレターは電子メールアドレスをお持ちの会員の皆様に Google グループのメーリングリストのシステムを使って配信しています。

配信元：中部産業遺産研究会 会報編集委員・広報幹事 橋本 英樹
 E-mail : hidekih@wine.plala.or.jp

Copyright 2002-2014 The Chubu Society For The Industrial Heritage, Allrights reserved.



このメールは Google グループのグループ「中部産業遺産研究会」の登録者に送られています。このグループから退会し、グループからのメールの配信を停止するには csih+unsubscribe@googlegroups.com にメールを送信してください。
<http://groups.google.com/group/csih> からこのグループにアクセスしてください。
 その他のオプションについては、<https://groups.google.com/d/optout> にアクセスしてください。

オキュパイド・ジャパンにみる 名古屋絵付け

10月24日(土) ▶ 11月6日(金)

◆会場 / 名古屋陶磁器会館

◆開館時間 / 10:00～17:00 入館無料・会期中無休



「オキュパイド・ジャパン」という言葉をご存じでしょうか。

裏に「Made in Occupied Japan」と記された陶磁器が在ります。これは、第2次世界大戦の敗戦によって、主権を失った日本が、1945(昭和20)年から1952(昭和27)年まで、連合国の統治による占領下の時代であったことを示すものです。その時代でも製品をつかって海外へ輸出しようとして、多くの人たちが汗を流していました。物資不足・原料不足の戦後の混乱期において、世界に通用する素晴らしい名古屋絵付けを施したオキュパイド・ジャパン期の作品を一堂に展示します。同時に、戦時中金属の代用品としてつくられた手榴弾・防衛食器を紹介いたします。



缶詰の代わりに
開発された防衛食器



陶磁器で作った
手榴弾

主催：名古屋文化遺産活用実行委員会



平成27年度文化庁文化芸術振興費補助金
(文化遺産を活かした地域活性化事業)

本事業は名古屋絵付けの普及・伝承を目的とする「名古屋陶磁の技の集大成となる普及啓発事業」の一環として開催いたします。

〈関連イベント〉詳しくは、裏面をご覧ください。

10/24
(土)

絵付け体験

カップ&ソーサーに小花を描いてみよう!

10/31
(土)

絵付け実演

名古屋絵付け職人の技

講演会・トークセッション

オキュパイド・ジャパンと名古屋絵付けについて

10/24
(土)

1階 展示室

第1回名古屋陶磁の技を伝える体験会

絵付け体験

事前
予約

小花を描いてみよう!

小さなアンティークのカップ&ソーサー(白磁)に可愛い小花を手描きしてみましょう。絵具と筆を使って絵付けを楽しみましょう。

電話又はe-mailにて名古屋陶磁器会館へお申込みください。(先着順)

- ◆時間/①10:30~12:00 ②13:30~15:00
- ◆定員/各回10名様
- ◆参加費/カップ&ソーサー1客 1,500円
- ◆講師/なごや凸盛隊(一級陶磁器上絵付技能士:安藤栄子・杉山ひとみ)

◎作品は焼成して完成となりますので、後日受取りに来ていただきます。
お渡しは、11月3日(火・祝)以降(別料金にて、発送も可能)



※ソーサーの直径は9.6cmです。

「なごや凸盛隊」は名古屋絵付けの伝統的「技」の継承、また、その魅力を発信することを目的として活動しています。

〈なごや凸盛隊の活動を発信するブログ〉 [facebookもチェック!](https://ameblo.jp/nagoya-decomoritai/)
<http://ameblo.jp/nagoya-decomoritai/>

10/31
(土)

1階 展示室

絵付け実演

予約不要
(自由見学)

名古屋絵付け職人の技

名古屋絵付けの代表技法のひとつ
「平筆による油絵風」技法の実演

- ◆時間/①11:00~11:30 ②15:15~15:45



長谷川徳幸 プロフィール
1949年より絵付け業に携り、絵付け職人として50年以上。現在はチャイナペインティング講師として技術の継承に尽力されています。愛知県優秀技能者・名古屋市技能功労者



2階 大ホール

講演会・トークセッション

事前予約
(参加費無料)

オキュパイド・ジャパンと名古屋絵付けについて

電話又はe-mailにて名古屋陶磁器会館へお申込みください。

- ◆時間/13:30~15:00 吉原ゆう子: 研究発表
近藤進: 研究発表
長谷川徳幸: 名古屋絵付けについて
3名によるトークセッション・質疑応答

コーディネーター: 鈴木俊昭(一般財団法人名古屋陶磁器会館副理事長)



吉原ゆう子 プロフィール
2008年中部大学国際関係学部国際文化学科卒業。2010年同人文部歴史地理学科卒業。2015年9月同大学院国際人間学研究科歴史・地理専攻(修士前期課程)修了予定。2011年より「メイド・イン・オキュパイド・ジャパン」の調査・研究を始める。



近藤進 プロフィール
1955年日本陶磁器輸出組合入局。以降60年以上陶磁器業界に携わる。現日本陶磁器産業振興協会参与・一般財団法人名古屋陶磁器会館評議員

【お問合せ・申込み先】

一般財団法人

名古屋陶磁器会館

〒461-0025 名古屋市東区徳川一丁目10番3号
〈TEL〉052-935-7841 〈FAX〉052-935-9592
〈メール〉 pottery@nagoya-toujikaikan.org
<http://nagoya-toujikaikan.org>

○市バスでの行き方

乗車バス停	系統	行き先	下車バス停
栄	基幹2	引山・四軒家	赤塚白壁
名古屋駅	基幹2	光ヶ丘・猪高車庫	(徒歩3分)

○地下鉄 桜通線 高岳駅より徒歩20分

○当館に2台駐車スペースがございますが、満車の場合は右図Pマークのコインパーキングをご利用ください。

主催:名古屋文化遺産活用実行委員会

